

2 分析結果の要約

分析 1

調査の概要及び調査結果の分析

(1) 「基礎・基本」 定着状況調査

〈タイプⅠ〉

- 小学校全教科及び中学校3教科（理科を除く）でおおむね定着している。

〈タイプⅡ〉

- 小学校国語、理科、中学校数学、理科、英語において、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに課題がある。

(2) 全国学力・学習状況調査

- 小学校は、全ての教科において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- 中学校は、国語については平均正答率が全国平均を上回っているが、数学Aについては全国平均を下回っている。

分析 2

質問紙調査の回答状況と教科調査の結果との関連

(1) 「課題発見・解決学習」に関すること

- 児童生徒質問紙調査の「課題発見・解決学習」に関する全ての質問事項において、肯定的に回答している児童生徒は、否定的に回答している児童生徒に比べて、全ての教科のタイプⅠとタイプⅡで、平均通過率が高い傾向が見られる。

- 「課題発見・解決学習」に関する全ての質問事項において、学校が、指導の工夫について「よく当てはまる」、「やや当てはまる」と肯定的に回答している割合よりも、児童生徒が肯定的に回答している割合は低い。

- 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善に関する質問事項において、「当てはまる」、「そう思う」と回答した児童生徒は、「当てはまらない」、「そう思わない」と回答した児童生徒に比べて、全ての教科のA問題とB問題で、5ポイント以上平均正答率が高い。

(2) 生活と学習に関すること

- 「基礎・基本」定着状況調査の児童生徒質問紙調査の回答状況と教科調査の結果との関連のうち、各教科の平均通過率の差の合計が大きいものから上位5つのうち、小学校、中学校に共通している質問事項

「授業では、解決しようとする課題について、『たぶんこうではないか』、『こうすればできるのではないか』と予想しています。」

「学校や社会のルールを守っています。」

「自分がすべき仕事や作業は、責任を持ってやります。」

- 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査の学習習慣に関する質問事項の回答状況と教科調査の結果との関連のうち、小学校、中学校共に、「している」と回答した児童生徒が、全ての教科において平均正答率が最も高い質問事項

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」

「家で、学校の宿題をしていますか」

「家で、学校の授業の予習をしていますか」

「家で、学校の授業の復習をしていますか」

- 小学校、中学校共に、自己実現力・自己効力感に関する5つの質問事項のうち4つの質問事項において、肯定的に回答した児童生徒が、全ての教科において平均通過率が高い。

分析 3

児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査における回答状況の関連（「基礎・基本」定着状況調査）

(1) 児童生徒質問紙調査における自己実現力・自己効力感に関する質問事項の回答状況とその他の質問事項の回答状況との関連

- 児童生徒質問紙調査の自己実現力・自己効力感に関する全ての質問事項において、「よく当てはまる」と回答している児童生徒は、「全く当てはまらない」と回答している児童生徒に比べて、学習や社会への関心等に関する質問事項の肯定的回答の割合が高い傾向が見られる。

(2) 学校質問紙調査の回答状況と児童生徒質問紙調査の回答状況との関連

- 小学校は、児童質問紙の「(教科)の勉強は好きです。」と「(教科)の授業はよく分かります。」について肯定的に回答している児童の割合を、学校質問紙の各質問事項(教科)に対して肯定的に回答している学校と否定的に回答している学校とで比較すると、肯定的に回答している学校の方が高く、さらにその差が最も大きい学校質問紙の質問事項は各教科で共通している。

- 中学校は、生徒質問紙の「(教科)の勉強は好きです。」と「(教科)の授業はよく分かります。」について肯定的に回答している生徒の割合を、学校質問紙の各質問事項(教科)に対して肯定的に回答している学校と否定的に回答している学校とで比較すると、肯定的に回答している学校の方が高く、さらにその差が最も大きい学校質問紙の質問事項は数学及び英語において共通している。

分析 4

通過率 30%未満の児童生徒の状況

(1) 通過率 30%未満の児童生徒の教科調査における状況

- タイプⅠの通過率 30%未満の児童生徒の平均通過率と県の平均通過率との差が最も大きかった設問
小学校 国語 三2② 第2学年の漢字の書き(顔) 小学校 算数 ①(6) 同分母の分数の減法
小学校 理科 ②(3) 金属のあたためり方
中学校 国語 三2(1) 登場人物の状況の把握 中学校 数学 ①(6) 一次方程式
中学校 理科 ②(2) 浮力
中学校 英語 実技 文法・表現 自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す

(2) 通過率 30%未満の児童生徒質問紙調査における回答状況

- タイプⅠの通過率 30%未満の児童生徒の肯定的な回答の割合と通過率 60%以上の児童生徒の肯定的な回答の割合との差が最も大きかった質問事項(小・中学校共通)

「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しています。」

「算数(数学)の授業はよく分かります。」

「理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったか考えています。」